

北海道各所に点在する廃墟を舞台とした

ローグライクゲームの作成

情報メディア学部 情報メディア学科 斎藤一ゼミナール 1623072 金谷 翼

背景

北海道の観光地を紹介するサイトは様々あるが、どのサイトも一様に同じ観光スポットを紹介しており、新たな発見ができないという点が見受けられる。しかし、近年廃墟などの裏スポットを紹介するWebサイトや書籍が増えてきており、函館や小樽の街などの表スポットだけでなく、裏スポットを観光するという動きが広く認知されていることも事実である。そこで本研究は、北海道に点在している裏スポットである廃墟をローグライクゲームで紹介することによって、廃墟のような裏観光スポットを盛り上げつつ、ローグライクというジャンルの認知度を少しでも上げたいという考えのもと作成する。



図1

ローグライクゲームとは

ローグライクゲームとは主にダンジョン探索をすることによって、ダンジョン内に落ちているアイテムや装備品を拾い集め、それらを駆使してクリアを目指すものが多い。また、一度ゲームオーバーになると持っていたアイテムなどはすべて無くなってしまい、最初の状態からスタートとなる。現在発売しているものは不思議のダンジョンシリーズが多いため、不思議のダンジョン系と定義されることが一般的である。

ローグライクゲームの売り上げに関する考察

ローグライクというゲームジャンルは、一定数のファンがいるものの、有名なジャンルであるRPGやシューティングなどと比べると、見劣りするイメージが強いというのが現状の評価である。売上本数の高いローグライクは総じて本編であるゲームが存在し、言わばその спинオフ作品として発売されたゲームである。これはローグライクというジャンルに興味があるわけではなく、作中に登場するキャラクターに魅力を感じているということに他ならない。

現在の進捗

ワールドマップ、拠点となる街の作成

目的とターゲット

本研究の目的は北海道観光を考えている人に向け、廃墟や建物跡といった裏スポットを紹介しつつ、ローグライクというジャンルをもっと多くの人に知ってもらうことを目的とする。よって、ターゲットは近々北海道観光を考えている人、ローグライクというジャンルを聞いたことがなく、新しいジャンルを開拓したいと考えている人をターゲットとする。

使用技術

wolf RPG エディター

今後の課題

- ・マップのランダム生成がうまくいかない
- ・現地調査不足
- ・戦闘システムの見直し